

目次

写真図版（和田家資料「内留」弘化四年分 全四巻）  
写真図版（和田家資料「内留」弘化三年分 裏書）  
発行によせて  
和田家資料「内留」弘化四年／「内留」（弘化三・四年）に見る五節句／  
奥御年寄・和田縫殿右衛門の仕事

写真図版・解説 弘化四年

正月

|      |                          |    |
|------|--------------------------|----|
| 元日   | 年始の御祝儀（巻一―2）             | 3  |
| 八日   | 殿様御下着（巻一―11）             | 12 |
| 十四日  | 御板初・御謡初（巻一―17）           | 18 |
| 十七日  | 御蘭取の御祝儀（巻一―20）           | 21 |
| 二十日  | 御旗祭（巻一―22）               | 23 |
| 晦日   | お従様御年直し御祝儀（巻一―30）        | 31 |
| 二月   |                          |    |
| 一日   | 与助草履下げ方（巻一―31）           | 32 |
| 六日   | 御子様方水痘発症（巻一―34）          | 35 |
| 十五日  | 御水痘御酒湯済の御祝儀（巻一―41）       | 42 |
| 二十五日 | 御子様方古御部屋御作替え（巻一―48）      | 49 |
| 二十九日 | 御雛御飾り（巻一―52）             | 53 |
| 三月   |                          |    |
| 三日   | 上巳の御祝儀（巻一―54）            | 55 |
| 二十日  | 藩主慶邦公より家政行届きのお褒め（巻一―71）  | 72 |
| 二十六日 | お従様御誕生日（巻一―76）           | 77 |
| 晦日   | 不時御用立品始末について仰せ渡さる（巻一―81） | 82 |
| 四月   |                          |    |
| 三日   | 抱痛御軽安の御祈禱（巻二―4）          | 87 |

八月

|      |                        |     |
|------|------------------------|-----|
| 八日   | 虫除け（巻二―8）              | 91  |
| 十六日  | 観照院様十七回忌御法事（巻二―15）     | 98  |
| 十九日  | お従様御縁組御實使の御祝儀（巻二―17）   | 100 |
| 二十五日 | 天神宮御祭礼（巻二―19）          | 102 |
| 五月   |                        |     |
| 一日   | 織建て（巻二―24）             | 107 |
| 五日   | 端午の御祝儀（巻二―26）          | 109 |
| 十四日  | 女中お富、出奔（巻二―30）         | 113 |
| 十九日  | 女中勤仕振りについて仰せ渡さる（巻二―33） | 116 |
| 六月   |                        |     |
| 一日   | 黄追い・氷室御祝儀（巻二―38）       | 121 |
| 十五日  | 石光院様御一周忌御法事（巻二―46）     | 129 |
| 十七日  | 藻巻準備（巻二―47）            | 130 |
| 十九日  | 藻巻（巻二―48）              | 131 |
| 晦日   | 名越の祓（巻二―56）            | 139 |
| 七月   |                        |     |
| 一日   | 御子様方新御家作御成就（巻二―56）     | 139 |
| 七日   | 七夕の御祝儀（巻二―60）          | 143 |
| 十一日  | 幡守明神御祭礼（巻二―63）         | 146 |
| 十二日  | 御四季施（巻二―66）            | 149 |
| 十三日  | お盆（巻二―67）              | 150 |
| 八月   |                        |     |
| 一日   | 八朔の御祝儀（巻二―80）          | 163 |
| 三日   | 貞力様御誕生日（巻二―82）         | 165 |
| 五日   | 蔵王嶽へ御礼参り（巻二―85）        | 168 |
| 十五日  | 明月（巻二―86）              | 174 |
| 二十日  | 栗拾い（巻二―10）             | 178 |
| 二十二日 | 畳替え（巻二―11）             | 179 |
| 二十七日 | 草狩り（巻二―19）             | 187 |
| 二十九日 | 御前御付女中お貞、御披露目（巻二―20）   | 188 |

九月

|                                      |                                                    |     |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------|-----|
| 五日                                   | お従様御縁組御願済（巻二―27）                                   | 195 |
| 九日                                   | 春中の藩主慶邦公より家政行届きのお褒め・お従様御縁組御願済・重陽の節句を兼ねての御祝儀（巻二―29） | 197 |
| 十三日                                  | 明月（巻二―34）                                          | 202 |
| 十九日                                  | 八幡宮御祭礼（巻二―40）                                      | 208 |
| 二十日                                  | 御子様方、愛宕神社・斗蔵親世音御参詣（巻二―42）                          | 210 |
| 十月                                   |                                                    |     |
| 五日                                   | 玄猪の御祝儀（巻二―50）                                      | 218 |
| 十四日                                  | 沢庵漬け（巻二―55）                                        | 223 |
| 十一月                                  |                                                    |     |
| 十五日                                  | 御油締め御祝儀（巻四―5）                                      | 237 |
| 十八日                                  | 若殿様御誕生日（巻四―10）                                     | 242 |
| 二十九日                                 | 瑞台院様御三回忌御法事（巻四―15）                                 | 247 |
| 十二月                                  |                                                    |     |
| 六日                                   | 御内証御備金（巻四―22）                                      | 254 |
| 十九日                                  | 御煤掃き（巻四―33）                                        | 265 |
| 二十八日                                 | お貞、老女列の御取扱い（巻四―44）                                 | 276 |
| 写真図版・解説 弘化三年分裏書                      |                                                    |     |
| 御小遣清算目録（天保三年七月廿九日）                   |                                                    | 281 |
| 御小遣清算目録（天保三年八月廿九日）                   |                                                    | 286 |
| 奥様御小遣清算帳（天保十三年六月晦日）                  |                                                    | 291 |
| 御内証御蘭取面附帳（天保十三年正月十一日）                |                                                    | 299 |
| 御蘭取御相手人数面附（天保八年正月十一日）                |                                                    | 307 |
| 御蘭取（年未詳・天保九年カ）                       |                                                    | 309 |
| 御中奥御蘭取面附帳（天保十一年正月十一日）                |                                                    | 311 |
| 御年始帳（弘化三年正月元日）／和田家・一条家縁組願控（年未詳五月十一日） |                                                    | 313 |
| 升尾宛巻野書状控／おみき宛巻野書状控／おひで宛巻野書状控／        |                                                    | 314 |
| 富屋宛巻野書状控（弘化三年）                       |                                                    | 314 |

語句解説

凡例

- 一、本書は、和田家資料「内留」弘化四年分と弘化三年分裏書を解説したものである。  
一、和田家資料「内留」弘化四年分は、全四巻からなり、総丁数は、二百七十九丁。全巻ほぼ同じ大きさで縦25・5cm×横16・6cm。全紙縦二つ折り・四つ目綴。一部、裏面を再利用したものがある。各巻の丁数は次の通り。  
巻一「弘化四年正月元日より三月晦日迄」 八十三丁  
巻二「弘化四年四月朔日より八月五日迄」 八十五丁  
巻三「弘化四年八月六日より十月廿九日迄」 六十四丁  
巻四「弘化四年十一月朔日より十二月廿九日迄」 四十七丁  
所蔵は、角田市郷土資料館である。  
一、文書の解説は、上段（写真図版・中段（翻刻、読み下し）・下段（語句解説）で構成した。下段（語句解説）で、項目のみ記載されているものは、調査中のものである。  
一、読み易くするため、適宜読点・並列点を加えた。台頭・平出・欠字は、原文に合わせた。  
一、翻刻は、出来るだけ原文で使用されている字体を用いた。読み下しは、常用の字体、仮名づかいを用いた。  
一、助詞の「に（二）」は「者・盤」、「へ（江）」は「て（而）」と「并」は、小さい文字にした。  
一、漢字の繰り返し記号「#」は「同」、「/」は「より」、変体仮名は、常用の仮名を用いた。  
一、本文の行間に書き加えられた文字は、本文に組み込んだ。本文余白に追記された部分は「余白（上）」「余白（下）」などと記し、条や頁の終わりに記した。  
一、文意の通じない文字や間違っていると思われる文字については、括弧書きにして付け加えた。  
一、付け加えた方が文章が整うと思われる語句については、括弧書きにして付け加えた。  
一、判読できなかった文字や欠損部分は、字数が明確な場合、文字数分の□や影印で、不明な場合は、□と記した。文字が推定される場合は、□の中に文字を記した。  
一、「……」は、筆者が文字を見せ消し（もとの文字が読めるように訂正した消し方）にしたことを表す。重ね書きで訂正された文字は、後に書かれた文字で判読した。  
一、解説では、年齢を数え年で表した。  
一、年号を通した主な出来事を目次としてまとめた。  
一、「弘化三年分裏書」解説文の末尾には、書かれていた頁を記載した。  
一、横二つ折りの資料については、上下段の境を破線で示した。  
一、主な語句解説・人物解説・引用参考文献は、巻末にまとめて記載した。  
一、本書の執筆・編集は、角田市郷土資料館館長新庄屋元晴・調査員逢田義廣・調査員氏家若子が担当した。